**データカテゴリーの更新案について**

カリフォルニア州の発達障害サービスシステムに関するデータは、個人が自分自身や所属するコミュニティを確認できるようになっている必要があります。データは一貫して収集され、分類されるべきです。カリフォルニア州発達障害サービス局は、カリフォルニア州のデータの質と一貫性をさらに向上させるため、以下のカテゴリーにおけるデータ収集の更新案について、皆様からのご意見を求めています。

1. 人種と民族
2. 使用言語
3. 居住場所（別名「居住コード」）
4. 性的指向と性自認
5. 法的ステータス（被後見人、フォスターユース、その他の集団を識別するために使用されるデータ）

これらの更新案は、カリフォルニア州および連邦の法律と規制、国勢調査局およびメディケアメディケイドサービスセンター（Centers for Medicare and Medicaid Services：CMS）が使用する連邦基準、カリフォルニア州財務局の人口統計情報、他の州機関に対する州および連邦の最近の監査、医療情報に関するカリフォルニア保健福祉局（California Health and Human Services：CalHHS）のデータ交換フレームワーク、カリフォルニア保健福祉局および政府業務局の多言語アクセスへの取り組み、データ定義に関係のないさまざまなコミュニティフォーラムで聞いた意見などを考慮して作成されました。これらの文書はあくまで意見を得るためのものであり、当局からの提案ではありません。

**各文書は、ご使用のパソコンにダウンロードすることができます。ご意見、ご感想、ご不明な点など、どのカテゴリーでも受け付けております。**皆様の声を、当局のデータタスクフォースが使用しているメールアカウント（[dtf@dds.ca.gov](mailto:dtf@dds.ca.gov)）までお寄せください。また、今後ウェビナーやバーチャル聞き取りセッションを開催し、意見を収集する予定です。2024年4月末までにいただいたご意見を検討させていただきます。

これらのカテゴリーで収集されるデータが更新されると、DDSは地域のパートナーと協力してデータシステムを修正し、地域センターの職員に対しトレーニングを行い、地域住民に資料を提供します。これらの変更により、カリフォルニア州のデータの質と一貫性が時間の経過とともに改善されることが期待されます。個人は、引き続き自分について収集された情報を確認する権利を持ち、プライバシーの権利は変わりません。

これらのカテゴリーのいずれか、またはすべてについてコメントをお寄せいただくことができます。カリフォルニア州のデータが、個人、家族、地域社会をよりよく反映したものになるよう、ご協力をお願いいたします。

変更案について意見を提供する際に考慮すべき点をいくつかご紹介します。

1. 本文書には変更案が含まれています。他の変更案を提案することもできます。
2. 本文書の変更案は、「どのような」情報を収集するかに関するものであり、「どのように」情報を収集するかに関するものではありません。
3. 自分自身をどのように表現するか、個人が選択できるようにする必要があります。
4. 自分を表現するために複数の選択肢が用意されている必要があります。
5. 詳細な情報を大きなカテゴリーにまとめることで、個人のプライバシーを引き続き保護し、報告を容易にしていきます。
6. カテゴリーが多すぎると、理解や対応が難しくなる場合があります。